

スウェーデンとイタリア交通ルールと実態

ChatGPT:

スウェーデンとイタリア、同じヨーロッパでも交通文化や安全意識にかなり違いがあります。

SE スウェーデン

- **安全重視の文化**
世界的に有名な「ヴィジョン・ゼロ (Vision Zero)」を 1997 年に導入。
→ 交通事故死者をゼロにするという政策で、道路設計・車両安全・速度管理を一体化。
- **速度制限**
 - 市街地: 30~50 km/h
 - 郊外: 70~90 km/h
 - 高速道路: 110~120 km/h (場所によっては 100 km/h に制限)
- **交通マナー**
 - シートベルト着用率はほぼ 100%。
 - 飲酒運転は極めて厳罰。許容アルコール濃度は 0.02% と世界最低レベル。
 - 歩行者優先が徹底されており、横断歩道では必ず車が止まる。
- **環境意識**
EV 普及や公共交通利用の促進が進み、都市部では自転車専用道も整備。

IT イタリア

- **ルールより「流れ」**
イタリア人は運転に積極的・攻撃的で、「標識より周囲の流れを読む」傾向が強い。
 - 赤信号や一時停止で止まらないケースも比較的多い。
 - 追い越しや車線変更もアグレッシブ。
- **速度制限**
 - 市街地: 50 km/h
 - 郊外: 90 km/h
 - 幹線道路: 110 km/h
 - 高速道路: 130 km/h (条件が良ければ 150 km/h まで試験的に認める区間あり)
- **交通マナー**
 - シートベルトやヘルメット着用は義務だが、守らない人も少なくない。
 - 飲酒運転は罰則があるが、北欧ほど厳しくはない。

- **環境意識**

ZTL(交通制限ゾーン)を都市部で導入し、旧市街には車の流入を規制。
ただし車社会的な生活習慣が根強く、排ガス規制でも北欧より遅れ気味。

👉 まとめると:

- スウェーデンは「**法律を守ることが文化**」、環境・安全の両面で厳格。
- イタリアは「**臨機応変・流れ優先**」、ルールより人間的な判断が強く働く。